

InftyReader Version 3.3 Enterprise license package

(C) Copyright 2000-2023:

Masakazu Suzuki (Kyushu University),

InftyProject (<http://www.inftyproject.org/>),

Science Accessibility Net (<http://www.sciaccess.net/>).

InftyReader Enterprise 版は、業務用や開発者向けのパッケージです。

同一敷地内にある一つの組織内であればサーバー上にインストールしてネットワーク経由で組織内のメンバーが共同で利用することも可能です。また、Enterprise 版はパッケージに同梱されているコマンドライン版(Infty.exe)を自社のシステムの中に組み込んで業務や研究開発に使うことが可能です。

但し、外部の組織から委託されたデータ製作事業やオンラインサーバーなどでの不特定多数の個人を対象としたサービスなど利用するためには、別途契約が必要になりますのでご注意ください。詳しくはサイエンス・アクセシビリティ・ネットの事務局にお問い合わせ下さい。

InftyReader が持っている数式認識や文字認識の機能だけを取り出して研究開発や製品開発に利用することも可能です（下記の「解析データ詳細出力機能」参照）。

【注意】 システム開発に用いる場合は、利用形態によっては InftyReader の Enterprise 版だけでなく、メディアドライブ社の SDK もご購入頂く必要がある場合もあります。詳しくは、サクセスネットの事務局までメールにてご相談下さい。

■解析データ詳細出力機能

（この機能を利用するためには、下記の研究開発用ライセンスが必要です。）

1. InftyReader による解析結果詳細情報を csv 形式で出力します。出力結果には各ページの画像中での領域分割、行分割、各文字・記号の文字コードと画像中の外接矩形情報、及び各文字・記号のテキスト／数式判定結果、数式の場合には数式構造を表すためのリンク情報などが含まれます。文字認識結果は最大で第十位までコスト付きで出力されます。（一部の文字については第1候補のみの場合も含まれます。）仕様の詳細についてはサクセスネット事務局までメールにてお問い合わせ下さい。
2. 認識対象が PDF の場合は、各ページの画像を指定した解像度で出力することができます。また、電子的に生成された PDF で、内部に文字コードやフォント情報が埋め込まれている場合は、OCR によらず、埋め込まれた文字・記号コードと、出力した画像上での外接矩形座標情報をセットで出力することが出来ます。

■制限事項

1. 上記のように同一敷地内にある一つの組織内で、当該組織に所属するユーザーがネットワークなどを介して共用することは可能ですが、本ライセンスだけで組織の外部の人に対するサービスを行うことは出来ません。対外的なサービスを行うための利用を検討される場合は、サクセスネット事務局までメールにてご相談下さい。
2. 本ライセンスには再配布ライセンスは含まれていません。**InftyReader** のソフトウェアの一部または全体を含めた製品を無許可で販売することは禁止します。上述の機能を組み込んだアプリケーションの配布・販売を行うためには別途、パッケージ数に応じた再配布ライセンス料が必要になります。再配布をご検討される場合はサクセスネットの事務局までメールにてご相談下さい。

■問い合わせ先

問い合わせに際しては、連絡先情報（所属、氏名、メールアドレス）と合わせて、必要とする機能、利用目的などに関する簡単な説明を添えて下さい。

NPO 法人サイエンス・アクセシビリティ・ネット事務局
office@mail.sciaccess.net